

平成30年度
試験研究課題一覧表

平成30年8月

愛知県農業総合試験場

目 次

【作物部門】	1
【野菜部門】	4
【花き部門】	7
【果樹部門】	10
【畜産部門】	12
【茶業部門】	15
【環境基盤部門】	16
【企画経営部門】	21

※ 事業分類の凡例

補助：補助事業

受託：イノベーション創出強化研究推進事業、戦略的プロジェクト研究推進事業
等の受託研究

特性：特性調査

連携：大学との連携協定に基づく研究

共同（Ⅰ型）：共同研究

共同（Ⅱ型）：共同研究（資金供与）

戦略：戦略的重要研究

農防費：農地防災事業費

土諸費：土地改良諸費

土改費：土地改良事業費

畜振費：畜産振興費

農改費：農業改良普及費

環保費：環境保全型農業推進費

農振費：農業振興費

平成30年度愛知県農林水産関係試験研究課題一覧表

【作物部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
気候変動に対応し、高品質安定生産を実現する作物生産支援システムの構築	環境に配慮した主要農作物生産支援技術の構築	28園芸農産課・西三河農政課、29知多農政課・知多普及課	26	30	作物		
難稈莢性大豆と早播き・摘心栽培を組み合わせた安定栽培技術の開発	播種時期と摘心を組み合わせた安定栽培技術の開発	28西三河普及課、28,29,30経済連	26	30	作物・水田利用	農研機構(次作)	受託(戦略プロ)
大豆多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発	多収阻害要因実態調査	28,29経済連、30園芸農産	27	31	作物・環境安全・水田利用・広域指導	農研機構(中央)	受託(戦略プロ)
	有機物施用等による改善技術の開発	28経済連	27	31	環境安全・作物・水田利用		
環境に配慮した水田輪作技術の開発	輪作田における水稲・小麦・大豆の低投入・高位安定栽培技術の開発		28	32	水田利用・作物		
土地利用型作物における高品質・高収量生産体系の確立	水稲・小麦・大豆の高品質・高収量化技術の確立		28	32	水田利用・作物		

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
土地利用型作物における高品質・高収量生産体系の確立(再掲)	水稲・小麦・大豆の高品質・高収量化技術の確立(再掲)	28西三河普及、28,29経済連、29西三河農政課	28	32	水田利用・作物		

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
代かきによる流域汚濁防止事業	代かきを行わないV溝直播栽培の推進	30農業経営課	30	32	作物・水田利用・広域指導		環保費
	代かきほ場における濁り水流出軽減対策		30	32	環境安全・農業工学		環保費
環境に配慮した栽培管理技術の確立	環境に配慮した作物栽培管理技術の確立	28,29西三河農政課・経済連	28	32	作物		
被覆尿素配合肥料を用いた硬質小麦品種「ゆめあかり」の省力施肥技術の開発	被覆尿素配合肥料を用いた硬質小麦品種「ゆめあかり」の省力施肥技術の開発	28園芸農産課、28,29,30経済連	28	30	作物・水田利用	JAあいち経済連	共同(I型)
気候変動に対応し、高品質安定生産を実現する作物生産支援システムの構築(再掲)	環境に配慮した主要農作物生産支援技術の構築(再掲)	28,29,30園芸農産課、29知多農政課・西三河農政課、29,30経済連	26	30	作物		
植物生育調節剤の研究開発事業	難防除雑草除草法の検討	27,30西三河普及、29知多農政課	30	30	作物	日植調	受託
小麦「きぬあかり」における栽培法を中心とした赤さび病被害低減技術の開発	赤さび病被害を低減する栽培体系の確立		29	31	作物・環境安全・水田利用・広域指導		戦略
	赤さび病被害を低減する防除体系の確立	28西三河、29豊田加茂	29	31	病害虫・病害虫防除・広域指導		

(エ) 研究事項 次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
次世代技術を活用したあいち型水田営農強化事業	ドローン等を活用した作物生育診断システムの開発及びそのシステムを利用した精密栽培管理技術の確立	30尾張農政課・西三河農政課・30経済連	30	33	作物・水田利用		補助(地方創生交付金)
NDVI測定を利用した作物の生産技術の開発	リモートセンシングと可変施肥機を活用した良食味米生産技術の開発およびリモートセンシングによる大豆安定栽培技術の開発	29経済連	30	30	作物	農林水産・食品産業技術振興協会 新稲作研究会	受託(新稲作)
	リモートセンシングによる小麦の生育調査法の開発	30園芸農産課	30	30	水田利用		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
新農薬の登録試験	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験	28尾張普及	30	30	病虫害防除・病害虫・作物・野菜(園)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸	県植防	特性(日植防、日植調等)
新たな技術やシーズを活用した品種・農業技術の開発	ヒ素を低減する水稻栽培技術の開発		30	32	環境安全・作物	農研機構(農環研)等	受託(戦略プロ)

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(ア) 研究事項 競争力の高い水田農業を確立する水稻・小麦品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
主要農作物の優良品種の育成・選定	気候変動に対し抵抗性を持つ品種の育成	28中央会、29園芸農産課、29、30中央会、30経済連	28	32	作物		
	病虫害抵抗性品種の育成	28、29、30経済連、29園芸農産課・尾張普及、29、30知多農政	28	32	作物		
	「コシヒカリ」を遺伝背景とする野生稲の染色体断片置換系統群を用いた高温登熟性に関連する染色体領域の探索-新規遺伝資源を活用した耐暑性系統の育成-			30	33	作物	ステイグリーン(株)・名古屋大学
主要農作物奨励品種決定調査	奨励品種決定調査	21、23、24経済連、22知多農政・普及、16、22西三河普及、25尾張普及(稲沢)、26、27、28中央会	30	30	作物・稲作		
(新) 遺伝子解析技術を利用した作物の優良品種の開発	温暖地東部向きの病虫害抵抗性を付与したCd低吸収性主力品種の育成		30	34	作物・環境安全	農研機構(次作)他	受託(イノベ強化事業)
耐病虫性水稻品種・育種素材の開発	斑点米カメムシによる被害を軽減できる育種素材の開発		27	31	作物・稲作・生物工学	農研機構(次作)	受託(戦略プロ)
作物出願品種栽培試験事業	縞葉枯病抵抗性検定		30	30	作物	JATAFF	特性
水稻特性検定試験	いもち耐病性検定		30	30	稲作	農研機構(次作、中央、生物機能)	特性
中食用水稻早生品種の開発	中食用水稻早生品種の育成		27	31	作物・生物工学	JAあいち経済連	共同(II型)
	栽培法の確立と現地実証		30	31	作物		

三河中山間地域における良質米安定生産技術の開発	いもち抵抗性良質水稻品種の育成	28, 29, 30経済連	26	30	稲作		
	アフリカイネ品種の耐冷性の評価		30	32	稲作	名古屋大学	連携
穂いもち抵抗性強化に関する遺伝要因の解明とそれを利用した育種素材の開発	穂いもち抵抗性強化に関する遺伝要因の解明とそれを利用した育種素材の開発		28	32	稲作	農研機構(中央)・神戸大学	共同(I型)
イネ品種の遺伝的改良と評価	イネ品種の遺伝的改良と評価		29	32	稲作・作物	JIRCAS	共同(I型)
アミロペクチン短鎖化でおいしさが持続する画期的な業務・加工向け多収水稻品種の開発	アミロペクチン短鎖化水稻品種の開発		26	30	稲作	農研機構(次作)、(北)、名古屋大学、福岡農林試、(株)ミツハシ、敷島製パン(株)、関谷醸造(株)、JAあいち経済連	(受託)(イノベ事業)(中核・愛知農総試)
	栽培特性評価		26	30	稲作、作物		
	現地実証と栽培マニュアル作成		28	30	稲作、作物、広域指導、経営情報		
原種生産事業	奨励品種原種栽培		30	30	作物・稲作		
	稲・麦・大豆奨励品種原種生産		30	30	水田利用		

【野菜部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
特産施設野菜の生産性及び品質向上技術の確立	アオジソの夏期需要期の安定生産のためのヒートポンプ利用技術の開発	27東三河普及・経済連	28	32	野菜(東)		
	アオジソの冬期需要期の安定生産のための環境制御技術の開発	28,30東三河普及、28田原普及、28,29,30経済連	28	32	野菜(東)		
	ミニトマトの養液管理による品質向上技術の開発	27,29東三河普及・27経済連	28	32	野菜(東)		
需要に対応した露地野菜の安定生産技術の開発	キャベツ等露地野菜の長期安定生産技術の開発	27,29東三河普及、29西三河普及(西尾)、29,30経済連	28	32	野菜(東)		
	ブロッコリーの冬期安定生産技術の開発	26東三河普及、26,27経済連、28尾張普及	28	32	野菜(東)		
キャベツのハウ素施用技術の開発	キャベツ作におけるハウ素適正管理技術の開発	30経済連	30	32	野菜(東)・環境安全	JAあいち経済連	共同(Ⅰ型)
4-5月どり寒玉系キャベツ品種及び栽培技術の開発	東海地域における春どり寒玉系キャベツの評価及び安定生産技術の開発		26	30	野菜(東)	農研機構(野花)	受託(戦略プロ)
新たな資材等を組み合わせた低コスト高温対策技術等による周年安定生産技術の開発	トマト抑制栽培における夏越し栽培技術の確立と評価		30	32	次世代(園)・野菜(東)	農研機構(野花)トヨタネ(株)・静岡県・長野県・福井県・千葉県	受託(革新(経営体プロ))

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
園芸作物の安定生産に向けた肥料の開発と施肥技術の確立	初夏どりキャベツ体系の施肥管理技術の確立	27,29東三河普及、28田原普及	29	31	野菜(東)	JAあいち経済連	共同(Ⅱ型)

(エ) 研究事項 ICTなど次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
環境制御による施設野菜の高収益生産技術の開発	環境制御下における施設トマト・ナス・イチゴの栽培管理技術の開発	24・27・29経済連、26田原普及、28・29尾張普及、28・29東三河普及	30	33	次世代・野菜(東)	JAあいち経済連・トヨタネ(株)	共同(Ⅱ型)
生体情報との結合による高度環境制御技術の開発	施設果菜における環境及び生育制御技術を用いた高能率・高付加価値栽培指針の作成		28	32	次世代(園)		
	水耕栽培における環境及び生育制御技術を用いた高能率・高付加価値栽培指針の作成		28	32	次世代(園)		
収量や成分を自在にコントロールできる太陽光型植物工場	トマト尻腐れ果・裂果発生要因の解明と対策技術の開発		26	30	次世代(園)	農研機構(野花)三重県、岡山県	受託(戦略的イノベーション創造プログラム)
ICTおよびRTによる栽培管理高度化技術の開発	ICTおよびRTを利用した施設野菜の栽培支援システムの開発	29田原普及、29中央会	28	32	次世代(園)		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
新農薬の登録試験(再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験	24,25中央会、26,27尾張普及	30	30	病害虫防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸	県植防	特性(日植防、日植調等)
施設園芸の栽培環境改善技術の開発	フキ中のピロリジジナルカロイド類の低減に関する調査研究		30	32	野菜(園)	農研機構(食)、群馬県、徳島県、東京家政学院大学	受託(安全な農林水産物安定供給のためのレギュラトリーサイエンス研究)

ウ 重点研究目標 環境に調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
園芸作物の安定生産に向けた肥料の開発と施肥技術の確立(再掲)	リン酸が蓄積した施設野菜栽培圃場に適したかん水同時施肥技術の開発		30	32	野菜(園)	JAあいち経済連	共同(II型)
リン酸が蓄積した施設野菜栽培圃場に適した全量基肥栽培技術の開発	リン酸が蓄積したトマトの促成長期栽培圃場における全量基肥栽培技術の開発	27海部普及	30	30	野菜(園)	JAあいち経済連	共同(I型)
家畜ふん尿メタン発酵消化液の利用技術の開発	メタン発酵消化液の利用による露地野菜生産安定技術の確立		30	32	野菜(東)・畜産環境		戦略
	メタン発酵消化液の利用による施設野菜生産安定技術の確立		30	32	次世代(園)・畜産環境		戦略

(ウ) 研究事項 中山間等地域農業の活性化を目指した技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
中山間地に適した施設園芸の高収益生産技術の開発	夏秋トマトにおける高品質・多収栽培法の開発	27,29,30新城設楽普及	27	31	園芸	JAあいち経済連・トヨタネ(株)	共同(II型)
			30	32	園芸	JAあいち経済連・トヨタネ(株)	
中山間地に適した露地園芸の高収益生産技術の開発	ジネンジョにおける省力的高品質栽培法の開発	27新城設楽普及	27	31	園芸		
	地域特産野菜の栽培技術の開発	29新城設楽普及	27	31	園芸		
中山間地域の新規就農促進に向けたジネンジョの安定生産技術の開発	中山間地域の新規就農促進に向けたジネンジョの安定生産技術の開発	27新城設楽普及	29	31	園芸・環境安全・広域		戦略
ジネンジョの褐変物質の探索と褐変物質低減に向けた栽培技術の確立	ジネンジョの褐変物質の探索と褐変物質低減に向けた栽培技術の確立		29	31	環境安全・園芸	茨城大学	共同(I型)

エ 重点研究目標 愛知の強みを生かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(イ) 研究事項 全国屈指の施設野菜産地を活性化する品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
施設野菜産地を支える品種開発	漬物加工特性を持つナス品種の育成	23東三河普及、24西三河普及、25,26,27尾張普及	29	33	野菜(園)		
	短節間性を持つ単為結果性トマト品種の育成		29	32	野菜(園)		
	低温着果性・低温肥大性を有する単為結果性トマト品種の育成		29	30	野菜(園)		
	高温期で着果性に優れ、複合病害抵抗性を持つトマト品種の育成	26尾張普及	29	34	野菜(園)		
施設野菜の多収栽培技術の確立	新品種を利用した生産技術の確立	20西三河普及、23豊田加茂普及、30農協中央会	26	30	野菜(園)		
新規に開発するDNAマーカーと感染性クローンによるTYLCV簡易接種法を利用した複合抵抗性トマト系統の開発	感染性クローンを利用したTYLCV簡易接種法による抵抗性の評価	25,26,27中央会、27尾張普及、28東三河普及	28	30	生物工学・野菜(園)		戦略
	新規病害抵抗性DNAマーカーの開発	25,26,27中央会、27尾張普及、28東三河普及	28	30	生物工学		戦略
	新規開発技術を利用した複合病害抵抗性を持つ単為結果性トマト系統の開発	25,26,27中央会、27尾張普及、28東三河普及	28	30	野菜(園)・生物工学		戦略
大果多収性で炭疽病抵抗性を備えたイチゴ品種の育成	素材品種・系統間の交雑、大果多収性・早生性及び炭疽病抵抗性による選抜、有望系統の現地適応性試験及び市場性調査	28,29尾張普及(稲沢)、29西三河普及(西尾)、28豊田加茂普及、28,29東三河普及、28,29,30農協中央会、29,30経済連	27	33	野菜(園)	JAあいち経済連	共同(I型)
海外植物遺伝資源の遺伝特性解析・収集	キュウリ遺伝資源の特性評価		30	34	野菜(園)	農研機構(生)	受託(戦略プロ)
	ナス遺伝資源の半枯病抵抗性評価と種子増殖		30	34	野菜(園)	農研機構(生)	受託(戦略プロ)
野菜育成系統評価試験	新規育成系統の特性及び系統適応性検定		30	30	野菜(園)・野菜(東)	農研機構(野花)	特性
	野菜新品種系統委託試験(全日本野菜品種審査会)		30	30	野菜(東)	日本種苗協会	特性
園芸種苗基核苗生産事業	イチゴ無病苗増殖		30	30	野菜(園)		
	フキ無病苗増殖		30	30	野菜(園)		
	ジネンジョの無病苗増殖		30	30	園芸		

【花き部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの高生産・高品質技術の開発	カーネーションの施肥等栽培方法の改善による高生産技術の開発	28東三河田原普及、29経済連	28	32	花き(園)		
	クルクマの施肥管理や被覆資材の選定など栽培環境の改善による安定生産技術の開発	28,29西三河普及	28	32	花き(園)		
	洋らん類の日持ち性向上による高品質化及び栽培条件の改善による出荷期拡大技術の開発	28東三河普及	28	32	花き(園)		

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの低コスト生産技術の開発	低温で栽培特性を持つ鉢物品目の選定と生産安定技術の開発		28	32	花き(園)		
	本県特産洋花の変温管理による省エネ栽培技術の開発		28	32	花き(園)		

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの高度環境制御システムの開発	鉢物類の冷房技術を組み合わせた夏季高温対策技術の確立		28	30	花き(園)		
	需要に合わせた花きの生産技術体系の確立	30西三河	30	30	花き(園)		
国際競争力強化のための低コスト高温対策技術の開発	低コスト高温対策＋ゼロ濃度差CO ₂ 施用に適したバラ栽植方式の開発		27	31	花き(園)		
	コショウランの低コスト高温対策技術の開発		27	31	花き(園)	農研機構(野花)、豊橋技科大、岐阜、トヨハシ種苗	受託(戦略プロ)
	バラ、コショウランの現地実証研究		27	31	花き(園)、広域指導		

(エ) 研究事項 次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
国際競争力強化のための低コスト高温対策技術の開発(再掲)	低コスト高温対策+ゼロ濃度差CO ₂ 施用に適したバラ栽植方式の開発(再掲)	28尾張普及、28東三河普及	27	31	花き(園)	農研機構(野花)、豊橋技科大、岐阜、トヨハシ種苗	受託(戦略プロ)
花きの高度環境制御システムの開発(再掲)	さらなる多収を目指したバラ生産技術の確立	27尾張普及、27西三河普及(西尾)、27経済連	27	30	花き(園)		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの新需要を創出する技術の開発	日持ち性向上や新規性のある鉢物の導入による消費者ニーズにマッチした鉢物栽培技術の開発		28	32	花き(園)		
ギクの需要創出に向けた新規花形ギクの栽培技術の確立	新規花形ギクの切り花としての栽培技術の確立		28	30	花き(東)		戦略
	新規花形ギクの鉢物としての栽培技術の確立		28	30	花き(園)		戦略
	中山間地における新規花形ギクの鉢物としての栽培技術の確立		29	30	園芸		戦略
	新規花形ギクの栽培技術の普及と流通や消費者への認知向上		28	30	経営情報・広域指導		戦略
施設園芸作物の収穫作業支援ロボットの研究開発	施設園芸作物の収穫作業支援ロボットの研究開発		28	30	花き(園)、花き(東)、広域指導	豊橋技術科学大学、シンフォニアテクノロジー(株)	受託(知の拠点重点プロ)
花き日持ち性向上対策実証事業	花き日持ち性向上対策実証		30	30	花き(園)、広域指導、経営情報		受託(国産花きイノベ)

(イ) 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
新農薬の登録試験(再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験	25, 26, 27, 28 中央会	30	30	病虫害防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸	県植防	特性(日植防、日植調等)

ウ 重点研究目標 環境に調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
家畜ふん尿メタン発酵消化液の利用技術の開発	花きにおけるメタン発酵消化液の利用技術の確立		30	32	花き(園)		戦略

(ウ) 研究事項 中山間等地域農業の活性化を目指した技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
中山間地に適した露地園芸の高収益生産技術の開発(再掲)	小ギクの安定生産技術の開発	27新城設楽普及(新城)、28,30豊田加茂普及	27	31	園芸		
	地域在来花きにおける安定生産技術の開発	28新城設楽普及(新城)	27	31	園芸		
中山間地に適した施設園芸の高収益生産技術の開発(再掲)	中山間地に適した鉢花の新たな栽培技術の開発	27新城設楽普及(新城)	27	31	園芸		

エ 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(ウ) 研究事項 日本一の花き産地を支える品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
花きの県オリジナル新品種の開発	カーネーションの新品種育成	20,21,23,24,26,27,28,29経済連、29西三河	26	30	花き(園)		
	バラの新品種育成	29経済連	26	30	花き(園)		
低温伸長性・低温開花性を有するキク品種の開発	低温伸長性・低温開花性品種の育成	26,27,28,29,30経済連、27知多普及・豊田加茂普及・田原普及、28尾張普及(稲沢)、28,29中央会	28	32	花き(東)		
夏季安定生産に対応できるキクの新品種・生産技術の開発(再掲)	耐暑性に優れたキク新品種の育成	28,29尾張普及(稲沢)、28知多普及、29,30経済連	28	32	花き(東)		
新規需要に対応できる品種・技術の開発	スプレーギクのオリジナル品種・技術の開発	29経済連	28	32	花き(東)		
	輪ギクのオリジナル品種・技術の開発	29経済連	28	32	花き(東)		
キク矮化病抵抗性を有するスプレーギク新品種の開発	交配による抵抗性新系統の作出	29経済連	28	32	花き(東)	イノオ精興園(株)	共同(II型)
	新系統の有用性評価及び選抜	29経済連	28	32	花き(園)・生物工学・花き(東)	イノオ精興園(株)	共同(II型)
耐暑性や良日持ち性を有するスプレーカーネーションの開発	DNAマーカーを活用した耐暑性や良日持ち性を有するスプレーカーネーションの開発		29	33	花き(園)	農研機構野菜花き研究部門	共同(I型)

【果樹部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
本県で導入を推奨するブドウ・ナシ・モモ品種の選定とその栽培技術の確立	導入を推奨するブドウ品種の栽培技術の確立	22尾張普及・西三河普及、29東三河普及	28	32	落葉果樹		
	導入を推奨するナシ品種の栽培技術の確立	28西三河普及	28	32	落葉果樹		
	導入を推奨するモモ品種の栽培技術の確立	20尾張普及、29尾張普及(稲沢)・豊田加茂普及	28	32	落葉果樹		
イチジクの安定生産技術の確立	イチジクの樹勢に合わせた枝梢管理による安定生産技術の確立	19西三河普及、20東三河普及、21, 28, 29経済連、30知多普及	18	32	落葉果樹		
	リン酸・カリの蓄積したイチジク園に適した施肥管理技術の確立	30西三河普及・経済連	30	32	落葉果樹	JAあいち経済連	共同 (I型)
カンキツの効率的施肥技術の確立	肥効調節型肥料と少量多頻度かん水による屋根かけ樹上完熟栽培「不知火」の収量増加技術の確立		30	34	常緑果樹		
カンキツの省力・低コスト・高品質生産技術の確立	カンキツ「夕焼け姫」の露地栽培における高品質安定生産技術の確立	29東三河普及	28	32	常緑果樹		
	カンキツ「みはや」の高品質安定生産技術の確立	27東三河普及	28	32	常緑果樹		
	カンキツ「あすみ」の高品質安定生産技術の確立	27, 30東三河普及	28	32	常緑果樹		
	炭酸ガス施用によるハウスミカンの収量増加技術の確立	30東三河普及、30経済連	30	32	常緑果樹		

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
果樹栽培における省力化・軽労化技術の確立	カキ・ナシ等の植調剤利用・仕立て法改善による省力化・軽労化技術の確立	20豊田加茂・東三河普及、22東三河普及、21, 24西三河普及	20	32	落葉果樹		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った需要創出と食の安全を支える農業の推進

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
新農薬の登録試験 (再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験		30	30	病害虫防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸	県植防	特性(県植防、日植調等)
新農薬の登録試験 (GLP)	GLP制度が適用される農薬の作物残留試験		30	30	常緑果樹		

ウ 重点研究目標 環境と調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(ア) 研究事項 環境に配慮した持続的農業技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
病害虫の総合的管理技術の開発	新規誘引資材によるイチジクのアザミウマ類防除技術の開発		30	31	病害虫・落葉果樹	協友アグリ(株)	共同(I型)

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(エ) 研究事項 多様な消費者ニーズに応え産地を強化する果樹品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
ナシ品種に求められる市場・消費者ニーズに対応した生産技術の確立	「愛知梨3号」の熟期及び果実重調節技術の開発		28	30	落葉果樹		戦略
	「愛知梨3号」に対する市場・消費者評価の把握・販売方法の提案		29	30	経営情報		
ブドウ・イチジク・ナシの本県オリジナル品種の育成	ブドウのオリジナル系統の開発	24中央会	19	32	落葉果樹		
	イチジクのオリジナル系統の開発	23東京事務所・西三河普及・豊田加茂普及・27知多普及・中央会・経済連	23	32	落葉果樹		
	ナシのオリジナル品種の開発	25豊田加茂普及	19	32	落葉果樹		
カンキツの優良品種の育成及び選定	ハウス栽培に適したウンシュウミカン品種の開発		28	32	常緑果樹		
	高品質な露地栽培向け中晩生カンキツ品種の開発	17東三河普及・27中央会	12	32	常緑果樹		
	カンキツの品種適応性比較	18知多普及・18,19東三河普及・21田原普及	16	32	常緑果樹		

【畜産部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
分娩間隔を短縮させる繁殖改善技術の開発	分娩間隔の短縮に向けた人工授精技術の確立	27, 28畜産課	27	30	養牛		
生体信号のモニタリング等を活用した家畜管理技術の開発	ドップラーセンサによる計測技術の開発		30	32			受託(SCOPE)

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
酪農における未利用資源利用による飼料低減技術の確立	未利用木質資源の飼料利用の検討	28畜産課	28	31	養牛		県単+畜振費(県)
あいちブランド「みかわ牛」の生産技術の高度化	あいちブランド「みかわ牛」を合理的に生産する飼養管理技術の確立	24, 26経済連、26畜産課	24	30	養牛		
あいちブランド「みかわ牛」の品質向上技術の開発	あいちブランド「みかわ牛」の標準的な飼料の開発	25, 28, 29経済連、28畜産協会、29田原普及	25	30	養牛	JAあいち経済連、京都大学	共同(I型)
草地を活用した飼料作物生産技術の実証	トウモロコシの二期作栽培技術の実証	27畜産課	27	30	養牛		
乳用牛の泌乳平準化とAIの活用による健全性向上技術の開発	乾乳期短縮技術の高度化による乾乳期飼養省力化と分娩後の健全性の向上		29	32	養牛	農研機構(北)	受託(革新(AIプロ))
超低温保存胚の子宮体部非外科的移植を利用した生産農家への低リスク低コストな高能力種豚導入実証	超低温保存胚の子宮体部非外科的移植を利用した生産農家への低リスク低コストな高能力種豚導入実証		28	30	養豚	家畜改良センター、埼玉県、佐賀県	受託(革新(地域戦略プロ))
飼料の効率的利用による鶏卵肉の低コスト生産技術の確立	有機酸、生菌剤を利用した飼料効率改善技術の開発	28尾張普及	28	31	養鶏		
特産家さんの飼養管理技術	卵用名古屋コーチンの生産性を向上させる育成技術の開発		30	32	養鶏		
	育雛期の飼料用米給与による肉用名古屋コーチンの発育改善	28名古屋コーチン協会、29畜産総合センター	28	31	養鶏		
肉用鶏の生産性向上を可能にする環境制御技術の開発	肉用鶏の生産性向上を可能にする環境制御技術の開発		28	30	養鶏	パナソニックエコシステムズ・宇都宮大	共同(II型)
未利用資源飼料化技術の開発	肉用名古屋コーチンにおける未利用資源利用方法の開発	28畜産課	28	31	養鶏		畜振費(県)
生産性の高いウズラ飼養管理技術の確立	ウズラにおけるワクチン接種技術の確立	26東三河普及、28田原普及	28	30	養鶏		
	ウズラにおける飼料用米利用技術の確立	28東三河農政課、26, 28東三河普及	28	32	養鶏		
産卵期のウズラにおける魚粉配合量低減化技術の開発	産卵期のウズラにおける魚粉配合量低減化技術の開発		28	30	養鶏	JAあいち経済連	共同(I型)

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
牛の効率的種畜増産技術の確立	E T技術を活用した効率的牛生産技術の確立	29畜総セ	28	32	養牛		
	子牛の発育性向上技術の開発	29新城設楽普及	28	30	養牛		
畜産における飼養管理強化対策技術の確立	黒毛和種繁殖雌牛の分娩間隔短縮に資する新たな栄養管理指標の開発		30	30	養牛		受託(伊藤記念財団)

(エ) 研究事項 ICTなど次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
豚人工授精の高度化に関する研究	豚凍結精液利用システムの確立	28, 29畜産課	27	32	養豚		
豚受精卵の利用技術に関する研究	豚受精卵の利用技術の確立	27, 29畜産課、27田原普及	28	32	養豚		
生体信号のモニタリング等を活用した家畜管理技術の開発	ドップラーセンサによる計測技術の開発		29	31	養鶏	愛知県立大学	共同(I型)

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
系統豚交雑種の飼養管理技術の確立	系統豚を利用した交雑種の飼養管理技術の確立	29, 30経済連、29田原普及	29	31	養豚		
	開発中デュロック種を利用した交雑種の飼養管理技術の確立	29経済連	30	35	養豚		
自給飼料を活用した豚肉・鶏肉・鶏卵の差別化技術および低コスト生産技術の開発	名古屋コーチン鶏肉の品質向上技術の開発と実証		28	30	養鶏	農研機構(畜)、新潟大、徳島県	受託(革新(地域戦略プロ))
消費者ニーズに対応した高品質な鶏卵肉生産技術の開発	名古屋コーチン鶏肉の特性の解明	30尾張普及	28	32	養鶏		
	名古屋コーチン鶏卵の風味特性の解明		29	31	養鶏	中部大学連携協定	

ウ 重点研究目標 環境に調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
地場産業の食品製造副産物を用いた豚肉生産方法の確立	肉豚における発酵食品副産物の給与技術	28畜産課	28	31	養豚		畜振費(県)
脱臭機能性資材の利用による悪臭対策技術の確立	脱臭機能性資材の効果的な利用方法の解明	28畜産課・知多農政	29	31	畜産環境		
簡易で低コストな畜産汚水中のN・P低減技術の開発	畜産汚水中のNとP低減技術を組み込んだ浄化システムの開発	28知多普及	28	32	畜産環境		
	嫌気発酵消化液中のN・P低減技術の開発	28知多普及	28	31	畜産環境		
産業廃棄物等を利用した良質な堆肥生産技術の確立	たまり粕利用による敷料向け良質堆肥生産技術の確立	28豊田加茂普及	28	31	畜産環境		
	未利用植物系資源を活用した堆肥化促進技術の開発	28畜産課・豊田加茂普及	28	31	畜産環境		
	未利用植物系資源を利用した嫌気発酵消化液固分の分離	28知多普及	29	30	畜産環境		
家畜ふん尿等の農業残さと小型ガスエンジンをを用いたバイオマスエネルギー活用システムの確立	家畜ふん尿等の農業残さと小型ガスエンジンをを用いたバイオマスエネルギー活用システムの確立		28	30	畜産環境	アイシン精機(株)	共同(II型)
家畜ふん尿メタン発酵消化液の利用技術の開発(再掲)	メタン発酵消化液の利用に向けた調製技術の確立		30	32	畜産環境		戦略
	メタン発酵消化液の利用に関する経営的評価と耕畜連携方策(案)の作成		30	32	経営情報、広域指導		
	メタン発酵消化液の利用技術の確立		30	32	作物、花き、野菜(東)、次世代		
消費者ニーズに対応した高品質な畜産物生産技術の開発	総合的な悪臭低減、臭気拡散防止技術の開発		30	34	畜産環境		受託(戦略プロ)

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(オ) 研究事項 愛知のブランド力を高める系統豚・名古屋コーチン系統の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
産肉性に優れたデュロック種系統豚の開発	産肉性に優れたデュロック種の閉鎖群育種による系統造成	28畜産課、28畜総セ、28, 29経済連、29養豚農協、29東三河普及	28	34	養豚		
繁殖性に優れたランドレース種種豚の開発	繁殖性に優れたランドレース種の小規模集団育種	30経済連	30	33	養豚		
肉用名古屋コーチンの改良	増体性と産卵性能に優れた名古屋コーチン種鶏の開発	27, 28, 29, 30畜産総合センター、29名古屋コーチン協会	29	38	養鶏		
	(名古屋コーチン系統間における遺伝的多様性の評価)		(29)	(31)	養鶏	(名古屋大学連携協定)	
卵用名古屋コーチンの改良	卵用名古屋コーチンの卵質改良	26経済連、29尾張普及、29知多普及	25	32	養鶏		
	卵用名古屋コーチンの性能調査	25畜産課、26経済連	25	32	養鶏		
名古屋コーチンにおけるプロラクチン遺伝子の発現制御因子と就巢行動の解明	プロラクチン遺伝子の発現制御因子と就巢行動の解明		27	30	養鶏	麻布大学	共同 (I型)

【茶業部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(イ) 研究事項 競争力の高い低コスト生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
整せん枝及び被覆法の改良によるてん茶の高品質安定生産技術の開発	摘採期拡大のための秋整枝及び最適被覆法の検討	29豊田加茂普及 30園芸農産課	28	32	茶業		

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
茶の輸出を拡大するための有機質資材の効率的施用技術の開発	かん水による肥効向上技術の開発		30	32	茶業		
	有機栽培における最適施肥割合の検討		28	30	茶業		
食品加工向けに適したてん茶生産技術の開発	優れた葉色のための被覆法、整枝法の検討	29園芸農産課	28	32	茶業		

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
茶における輸出相手国の残留農薬基準に対応した防除技術の開発	有機栽培防除体系の構築及び評価	27園芸農産課	30	32	茶業	農研機構(果茶)	受託(革新(先導プロ))
	散水防除が土着天敵に及ぼす影響の解明		28	30	病害虫		
新農薬の登録試験(再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調節剤の薬効・薬害・残留試験		30	30	病害虫防除・病害虫・作物・野菜(園)・野菜(東)・花き(園)・花き(東)・落葉果樹・常緑果樹・茶業・園芸	県植防	特性調査(県植防、日植調等)

【環境基盤部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
大豆多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発(再掲)	有機物施用等による改善技術の開発	28,29経済連、30園芸農産	27	31	環境安全・作物・水田利用	農研機構(中央)	受託(戦略プロ)
	多収阻害要因実態調査	28経済連	27	31	作物・環境安全・水田利用・広域指導		
キャベツのホウ素施用技術の開発(再掲)	キャベツ作におけるホウ素適正管理技術の開発	30経済連	30	32	野菜(東)・環境安全	JAあいち経済連	共同(I型)

(ウ) 研究事項 生産環境の変化に対応できる高品質安定生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
病害虫の総合的管理技術の開発	QoI剤に依存しない露地ブドウの晩腐病防除体系の確立	27尾張普及	28	30	病害虫		
茶における輸出相手国の残留農薬基準値に対応した防除技術の開発(再掲)	散水を利用したチャノミドリヒメヨコバイ管理技術の開発	27園芸農産課	28	32	茶業	農研機構(果茶)等	受託(革新(先導プロ))
	散水防除が土着天敵に及ぼす影響の解明				病害虫		
モモ・ナシの高品質・安定生産を実現する病害防除技術体系の実証研究	モモ・ナシの高品質・安定生産を実現する病害防除技術体系の実証研究	25東三河普及、29東三河普及	28	30	病害虫・広域指導	農研機構(果茶)等	受託(革新(地域戦略プロ))
小麦「きぬあかり」における栽培法を中心とした赤さび病被害低減技術の開発(再掲)	赤さび病被害を低減する栽培体系の確立		29	31	作物・環境安全・広域指導		戦略
	赤さび病被害を低減する防除体系の確立	28西三河普及、29豊田加茂普及	29	31	病害虫・病害虫防除・広域指導		
AIを活用した病害虫診断技術の開発	キュウリの画像データ収集と検証	30尾張普及	29	32	病害虫・病害虫防除・広域指導	農研機構(中央)等	受託(戦略プロ)

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(イ) 研究事項 安全で信頼に応える農業生産を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
遺伝子解析技術を利用した品種、病害虫等の識別、診断技術の開発	LAMP法による病害虫診断技術の開発		28	31	生物工学		
	病害検定法の開発を目指した異科接ぎ木技術の評価		30	31	生物工学・花き(園)	グランドグリーン(株)	共同(I型)
	マルチプレックス遺伝子診断チップの開発		30	32	生物工学	国立大学法人豊橋技術科学大学	共同(I型)
病害虫の総合的管理技術の開発(再掲)	キクのアザミウマ類に対する天敵利用技術の確立	26,27,28,29,30中央会、26知多普及・海部普及	28	30	病害虫		
農薬残留対策総合調査	土壌残留性農薬の後作物に対する影響評価		30	30	環境安全	エスコ	受託(環境省農薬残留対策総合調査)

農作物有害動物発生予察事業 (植物防疫事業交付金)	指定有害動物発生予察事業		30	30	病害虫防除		農改費
	指定有害動物の発生予察手法の 開発と調査		30	30	病害虫		
	ミバエ類等侵入警戒調査		30	30	病害虫防除		農改費
	プラムボックスウィルスの発生 調査		30	30	病害虫防除		農改費
農作物有害動物発生予察事業 (補助)	マイナー作物の農薬残留分析調 査		30	30	病害虫防除		農改費
	マイナー作物の防除体系の確立 事業	25, 26, 27, 28, 29, 30中央会	30	30	病害虫防除		農改費
農作物有害動物発生予察事業	重要病害虫発生予察事業		30	30	病害虫防除		農改費(県)
	重要病害虫の発生予察手法の開 発と調査		30	30	病害虫		
	農作物有害鳥獣調査		30	30	病害虫		
新農薬の登録試験(再掲)	殺虫・殺菌剤・除草剤・植物調 節剤の薬効・薬害・残留試験	25, 26, 27, 28, 29, 30中央会	30	30	病害虫防 除・病害 虫・作物・ 野菜 (園)・野 菜(東)・ 花き (園)・花 き(東)・ 落葉果樹・ 常緑果樹・ 茶業・園芸		特性(県植防、 日植調等)
新農薬の登録試験(再掲) (GLP)	GLP制度が適用される農薬の作 物残留試験		30	30	常緑果樹		
輸入植物検疫協議の迅速化委 託事業	輸出植物検疫協議迅速化事業		30	30	病害虫防除	農研機構(中央 農研)等	特性
病害虫の防除に直結する発生 予察体制への転換委 託事業	病害虫調査データ収集アプリ ケーションの実証調査		30	32	病害虫防除	農研機構(中 央)	農改費
新たな技術やシーズを活用し た品種・農業技術の開発	省力的かつ現場で使い易いコメ の無機ヒ素低減技術の開発		30	32	環境安全・ 作物	農研機構(農環 研)等	受託(戦略プ ロ)

ウ 重点研究目標 環境と調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(ア) 研究事項 環境に配慮した持続的農業技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究 開始年	研究 終了年	担当研究室	共同研究先・ 委託元	事業分類
家畜ふん堆肥の有効活用技術 の開発	家畜ふん堆肥の有効活用による 減肥技術の開発		28	32	野菜(東)		
緑肥の肥効に基づいた施肥管 理技術の開発	緑肥を活用した施肥量削減技術 の開発	27尾張普及	28	31	野菜(東)		
夏まき緑肥作物の利用による 窒素溶脱低減と野菜の減肥技 術	緑肥作物を活用した露地野菜畑 における窒素負荷低減技術の開 発	30東三河普 及・田原普及	27	31	野菜(東) ・広域指導	農研機構(中 央)	受託(戦略プ ロ)
可給態窒素の迅速診断に基づ く窒素施肥の適正管理	野菜畑における可給態窒素の評 価に基づく施肥技術の開発	30経済連	27	31	環境安全・ 野菜(東) ・広域指導	農研機構(中 央)	受託(戦略プ ロ)
肥料成分の土壌中での動態解 明に基づく土壌管理技術の開 発	野菜畑におけるリンとカリウム の土壌中での動態解明	26経済連	26	30	環境安全		
	水田における長期肥料試験		26	30	環境安全 ・水田利用		
	土壌起源、土壌蓄積性養分の動 態解明と肥効評価		30	30	環境安全	農研機構(農環 研)	共同(I型)

水稲生産性向上のための愛知県内土壌の実態把握と土壌改良資材効果の実証に基づく施肥改善方針の確立	水稲生産性向上のための愛知県内土壌の実態把握と土壌改良資材効果の実証に基づく施肥改善方針の確立		28	30	環境安全	JAあいち経済連	共同 (I型)
肥料・農薬の環境動態解析と負荷低減技術の開発	土壌中における農薬の分解促進技術の開発		30	32	環境安全		
農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査事業 (農地管理技術実証)	一酸化二窒素排出削減のための農地管理技術検証		29	31	環境安全	農研機構 (北)	受託(農地土壌炭素貯留等基礎調査事業)
農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査事業 (農地管理実態調査)	農地管理実態調査		29	30	環境安全		補助(農地土壌炭素貯留等基礎調査事業)
病害虫の総合的管理技術の開発 (再掲)	ダイズにおけるチョウ目害虫の防除対策		30	32	病害虫		
	コナガの薬剤感受性検定	27経済連	27	30	病害虫		
	コナガ等の遺伝子解析による薬剤抵抗性検定		30	31	病害虫		
	キュウリのアザミウマ類に対する天敵による防除	26, 27, 28, 29, 30中央会	28	30	病害虫		
	キャベツ菌核病の防除技術の確立	29中央会	29	32	病害虫・広域指導		
	イチゴ炭疽病菌の殺菌剤耐性菌検定と防除体系の確立	30知多普及	30	32	病害虫・広域指導		
	イチジク株枯病の防除技術の確立		28	30	病害虫・広域指導		
新規誘引資材によるイチジクのアザミウマ類防除技術の開発		30	31	病害虫・落葉果樹	協友アグリ(株)	共同(I型)	
代かきによる流域汚濁防止事業(再掲)	代かきを行わないV溝直播栽培の推進	30農業経営課	30	32	作物・広域指導		環保費
	代かきほ場における濁り水流出軽減対策		30	32	環境安全・農業工学		環保費

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
環境と調和に配慮した農業農村整備事業実施のための評価法の確立	環境DNAによるモニタリング法と評価法の開発	29農地計画課	30	33	農業工学・生物工学		土改費
水田の機能強化技術の開発	水田の畦畔からの漏水防止技術の開発	28農地計画課	28	31	農業工学		
農村地域における小水力発電システムの現地適応技術の開発	農業水利施設に利用可能な小水力発電システムの開発	24, 25農地計画課、25農地整備課	24	30	農業工学		土改費
	小水力発電など代替エネルギーの農業利用技術の開発	25農地計画課、25農地整備課	25	29	農業工学		土改費
開放型小水力発電装置の開発	試作機の性能試験		27	29	農業工学	㈱篠田製作所	共同
	現地実証試験		30	30	農業工学		
土地改良計画調査(統制調査)	新規需要米栽培である飼料用米の栽培における水需用実態の把握	29農地計画課	29	31	農業工学		土改費
農業用水の安定した送水技術の確立	F R P M管における漏水事故の原因究明	29農地整備課	30	32	農業工学		土改費
農地～国レベルでの窒素動態の実態を反映した新たな窒素負荷指標の開発	窒素動態の実態を反映した新たな窒素負荷指標の開発		28	30	野菜(東)・環境安全	農研機構(環)	受託(イノベ事業)
遺伝子解析技術を利用した品種、病害虫等の識別、診断技術の開発(再掲)	家畜ふん堆肥化過程における微生物動態の解明		29	31	生物工学		

(ウ) 研究事項 中山間等地域農業の活性化を目指した技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
鳥獣侵入防止柵及び鳥獣侵入警報システムの開発	鳥獣侵入防止柵の開発	30知多普及・西三普及・豊田普及・新城設楽普及・東三普及	30	31	病虫害・広域指導	未来のアグリ(株) IT工房Z	共同(Ⅰ型)
	鳥獣侵入警報システムの開発		30	31	病虫害・広域指導		
鳥獣被害防止総合対策事業(鳥獣被害防止総合対策交付金)	新技術実証活動		30	30	病虫害・広域指導		農振費
鳥獣害防止対策技術の開発	音を用いた追い払い技術の開発		30	32	病虫害・広域指導		農振費
	集落点検及び殺処分迅速化技術の開発		30	32	病虫害・広域指導		
中山間地域の新規就農促進に向けたジネンジョの安定生産技術の開発(再掲)	中山間地域の新規就農促進に向けたジネンジョの安定生産技術の開発	27新城設楽普及 30尾張普及、 30西三河普及	29	31	園芸・環境安全・広域		戦略
ジネンジョの褐変物質の探索と褐変物質低減に向けた栽培技術の確立(再掲)	ジネンジョの褐変物質の探索と褐変物質低減に向けた栽培技術の確立		29	31	園芸・環境安全	茨城大	共同(Ⅰ型)

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への開発

(ア) 研究事項 競争力の高い水田農業を確立する水稻・小麦品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
耐病虫性水稻品種・育種素材の開発(再掲)	斑点米カメムシによる被害を軽減できる育種素材の開発		27	31	作物・稲作・生物工学	農研機構(次作)	受託(戦略プロ)
育種目標とする形質に連鎖するDNAマーカーの開発と変異誘導等の細胞操作による育種素材の作出(再掲)	水稻の高温耐性マーカーの開発		28	31	生物工学		
	麦類病害抵抗性等の育種選抜マーカーの開発		30	31	生物工学		
中食用水稻早生品種の開発(再掲)	中食用水稻早生品種の育成		27	31	作物・生物工学	JAあいち経済連	共同(Ⅱ型)
	栽培法の確立と現地実証		30	31	作物		
	炊飯・加工適性評価		30	31	作物		
新たな実需ニーズに応える寒冷地・多雪地向け新需要大麦品種等の育成と普及	大麦土壌伝染性ウイルス抵抗性検定		26	30	生物工学	長野県・農研機構(中央)・(東)・(次作)	受託(イノベ事業)

(イ) 研究事項 全国屈指の施設野菜産地を活性化する品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
育種目標とする形質に連鎖するDNAマーカーの開発と変異誘導等の細胞操作による育種素材の作出(再掲)	高温期で着果性に優れ、複合病害抵抗性を持つトマト品種の育成		28	31	野菜(園)・生物学		
新規に開発するDNAマーカーと感染性クローンによるTYLCV簡易接種法を利用した複合抵抗性トマト系統の開発(再掲)	感染性クローンを利用したTYLCV簡易接種法による抵抗性の評価	25, 26, 27中央会、27尾張普及	28	30	生物学・野菜(園)		戦略
	新規病害抵抗性DNAマーカーの開発		28	30	生物学		
	新規開発技術を利用した複合病害抵抗性を持つ単為結果性トマト系統の開発		28	30	野菜(園)・生物学		

(ウ) 研究事項 日本一の花き産地を支える品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
キク矮化病抵抗性を有するスプレーギク新品種の開発(再掲)	交配による抵抗性系統の作出		28	32	花き(東)	イノチオ精興園(株)	共同(II型)
	新系統の有用性評価及び選抜		28	32	花き(園)・生物学・花き(東)		
育種目標とする形質に連鎖するDNAマーカーの開発と変異誘導等の細胞操作による育種素材の作出(再掲)	花き育種素材の開発を目指した異科接ぎ木技術の評価		29	31	生物学・花き(園)	グランドグリーン(株)	共同(I型)

(エ) 研究事項 多様な消費者ニーズに応え産地を強化する果樹品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
育種目標とする形質に連鎖するDNAマーカーの開発と変異誘導等の細胞操作による育種素材の作出(再掲)	イチジク雌雄性判別等DNAマーカーの開発		29	31	生物学・落葉果樹	名古屋大学	連携

【企画経営部門】

ア 重点研究目標 技術革新で創造する強い農業経営の確立

(ア) 研究事項 高い生産性で高収益農業を実現する技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
技術革新の成果等を導入した新たな経営モデルの作成	大規模水田における新たな複合経営モデルの作成	30経済連	30	30	経営情報		

(エ) 研究事項 次世代技術を活用した革新的生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
技術革新の成果等を導入した新たな経営モデルの作成(再掲)	次世代技術の導入事例収集及び経営モデルの試作		30	32	経営情報		
乳用牛の泌乳平準化とAIの活用による健全性向上技術の開発(再掲)	酪農現場における泌乳平準化による健全性向上効果の経済評価		29	32	経営情報、養牛	農研機構(北)	受託(革新(AIプロ))

イ 重点研究目標 消費者視点に立った新たな需要創出と食の安全を支える農業の推進

(ア) 研究事項 消費者・実需者のニーズに応える生産技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
キクの需要創出に向けた新規花形ギクの栽培技術の確立(再掲)	新規花形ギクの栽培技術の普及と流通や消費者への認知向上		28	30	経営情報、広域指導		戦略
花き日持ち性向上対策実証事業(再掲)	花き日持ち性向上対策実証		30	30	花き(園)、広域指導、経営情報		受託(国産花きイノベ)
ナシ品種に求められる市場・消費者ニーズに対応した生産技術の確立(再掲)	「愛知梨3号」に対する市場・消費者評価の把握・販売方法の提案		29	30	経営情報		戦略
イチジクの高品質安定生産と新商材の開発による産地ブランドの創出	イチジク消費拡大のためのPR・販売方法の提案		30	30	経営情報、広域指導		農改費

ウ 重点研究目標 環境と調和した農業の推進と農村・地域の活性化

(イ) 研究事項 地域の環境保全と資源の活用を図る技術の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
家畜ふん尿メタン発酵消化液の利用技術の開発(再掲)	メタン発酵消化液の利用に関する経営的評価と耕畜連携方策(案)の作成		30	32	経営情報、広域指導		戦略

エ 重点研究目標 愛知の強みを活かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応

(ア) 研究事項 競争力の高い水田農業を確立する水稻・小麦品種の開発

研究課題名	細目課題名	要望元	研究開始年	研究終了年	担当研究室	共同研究先・委託元	事業分類
アミロペクチン短鎖化でおいしさが持続する画期的な業務・加工向け多収水稻品種の開発(再掲)	現地実証と栽培マニュアル作成		28	30	稲作、作物、広域指導、経営情報	農研機構(次作)、(北)、名古屋大学、福岡農林試、(株)ミツハシ、敷島製パン(株)、関谷醸造(株)、JAあいち経済連	(受託)(イノベ事業)(中核・愛知農総試)